

・全世界:新型コロナウイルス流行状況

6 月は新型コロナウイルスの感染者数に大きな変化がみられていません。ただし、南東アジア(インド、インドネシアなど)、中東(UAE、バーレーンなど)、一部のヨーロッパ諸国(フランス、イタリアなど)で、感染者数がやや増加しています(WHO Corona virus disease 2022-6-22)。流行しているオミクロン株の種類としては、世界的に BA2 が半数近くを占めていますが、BA.4 や BA.5 も増加傾向にあります。BA.4、BA.5 は BA.2 よりも感染力がやや強い可能性があり、今後の動向に注意が必要です。なお、日本では 6 月からは水際対策が大幅に緩和され、入国時の検査や入国後の健康監視が、一部の国からの入国者に限定されています。詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。[水際対策 | 厚生労働省 | 日本政府 \(mhlw.go.jp\)](#)

・全世界:サル痘の流行状況

欧米諸国などで発生していたサル痘の患者数は 6 月も増加し、6 月中旬までに世界 42 か国で 2000 人以上の患者が確認されています(WHO 22-6-17)。患者の多くは男性間性交渉者(Men who have Sex with Men :MSM)で、感染者との性行為などによる濃厚接触で感染が拡大している模様です。患者の症状はほとんどが軽く、2~4 週間で回復しています。

・全世界:小児の急性肝炎

小児の原因不明の急性肝炎の患者は、その後も増加しています。患者数はヨーロッパで 6 月中旬までに 449 人になり、このうち半数は英国での発生でした。(ヨーロッパ CDC 22-6-17)。米国でも 5 月下旬までに 216 人の患者が確認されています。なお、原因は相変わらず不明のままで、アデノウイルスや新型コロナウイルスの感染が考えられています。

・アジア:東南アジアで Dengue 熱患者が増加

東南アジア各国で Dengue 熱の患者数が増加しています(WHO 西太平洋 22-6-16)。とくにシンガポールでは 6 月中旬までに 1 万 1000 人となり、昨年同期より 400%以上増えています。マレーシ

アでは 2 万 4000 人、ベトナムでは 6 万人、フィリピンでは 4 万人(Outbreak news today 22-6-22)の患者が発生しており、いずれも昨年より増加しています。東南アジアはこれから雨期や暑期を迎えるため、患者数がさらに増加する可能性があります。

・アジア: マレーシアで手足口病が流行

マレーシアで小児を中心に手足口病が流行しています(Outbreak news today 22-6-21)。6 月中旬までに患者数は 10 万人に達しており、昨年の 40 倍近い数になっています。患者の発生は首都周辺のスランゴール州などで多くみられます。手足口病はコクサッキーウイルスやエコーウイルスが原因で、患者からの飛沫で感染します。発熱や口内炎、手足の発疹などがみられ、稀に脳炎を起こすこともあります。予防は手洗いやマスクの着用など新型コロナ対策と同様です。

・南半球: 季節性インフルエンザの流行が拡大

冬を迎えた南半球で、季節性インフルエンザの流行が拡大しています(WHO Influenza 22-6-13)。流行株としては、オーストラリアや南米のチリなどで A(H3N2 型)、南アフリカで A(H1N1 型)が主に検出されています。南半球では 2019 年以来、季節性インフルエンザの流行が発生していませんでした。北半球でも今年の冬は 3 年ぶりの流行が発生する可能性が高くなっており、秋にはインフルエンザワクチンの接種を受けておくことを強く推奨します。